



あすなろ



言葉の力

校長 鈴木 華奈子

「嘘をついたこと、ありますか?」と聞くと、小さく頷く子もいれば、「う〜ん」としばらく考えている子もいます。

「嘘はついちゃだめだよ。」幼いころからよく言い聞かせられた言葉。「本当のことを言わず、嘘をつくのは良くないこと」が子どもたちの当たり前なのだと思います。「う〜ん」と頭を傾けている子はどんなことを考えているのでしょうか。

(嘘ついたことないって言ったら、嘘になるかなあ。)(誰にもばれなければ嘘にならない?)
いろいろな考えが浮かんでいたと思います。



病気になった大切な人を守りたくてずっと嘘をつきとおした話を紹介しました。

時には、「嘘」が、人を元気づけたり、守ったりできることもあります。

嘘には、「良くない嘘」だけではなく「良い嘘」もあるのかもしれない。

一方、たとえ「本当」のことでも、その内容(外見や性別、好み、障害など)や、その場面(周り中がばかにしたように笑う、避けるなど)によっては人の心を深く傷つけてしまうこともあります。

「あの人があなただのことを〇〇って言っていたよ。」も同じです。相手が聞いて嫌な思い・悲しい思いをするようなら、それは「良くない本当」なのかもしれません。

言葉には、力があります。

嘘であろうと本当であろうと、言葉は、その内容や場面によって、人を励ましたり守ったりもできれば、深く傷つけてしまったり悲しませてしまったりもします。これまでも、何気なく放った言葉で相手を傷つけてしまったことがあったかもしれません。これからもあるかもしれません。

子どもたちと一緒に、「嘘」と「本当」の話をきっかけに、言葉のもつ力の大きさを踏まえ、「言葉にする勇気」と「言葉にしない勇気」両方について考えました。

11~12月、一人ひとりが大切にされ、幸せになる権利「人権」に関する授業を全学年で行いました。誰もが「ちがいで」排除されることなく、みんなで認め合い支えあえるよう、言葉のもつ力と言葉にする勇気・しない勇気について、子どもたちと考え続けていきます。

県教育委員会や文部科学省から、以下の案内が来ています。ぜひご覧ください。

県教育委員会
教育広報誌
『かけはし』



年末年始期間における
「孤独・孤立相談ダイヤル →
#9999」



4年ぶりの出店運営！あすなろフェスティバル

児童会担当

12月1日（金）、「あすなろフェスティバル」を行いました。楽しい学校生活を築いていこうとする態度を育てることや、学級で出店を開くことで学級の仲間との絆を深めることをねらいとして、あすなろ委員会主催で行われました。

今年度は、2～6年生の各学級が出店を開き、ペア学年の友達と一緒にお店を回りました。「なるべくゴミを出さない」「なるべく学校にあるものを活用する」というあすなろ委員会の提案のもと、2年生は「つみつみタワー」、3年生は「3年生パーク～ボウリング・わなげ～」、4年生は「キングを目指せ！ダンボールタワー」、5年1組は「?ボックス」、5年2組は「ジェスチャーの館」、6年生は「躍動モルック」と、各学級が趣向を凝らした出店を企画・運営しました。時間が限られていたため、全てのお店を回ることができず「もっと回りたかった」という声もありましたが、子どもたちの表情は笑顔でいっぱいでした。その姿を見ると、子どもたちにとって思い出に残る行事の一つになったのではないかと思います。

参観にお越しいただいた保護者の皆様、温かい声掛けや一緒に楽しんでいただいたことは、子どもたちの励みとなりました。ありがとうございました。



あたたかな気持ちがあふれる学校に… いじめ見逃しゼロ強調月間

生活指導主任



11月は、第2回いじめ見逃しゼロ強調月間です。この期間に、いじめアンケートや教育相談（スマイルタイム）等の取組を実施しました。

その中の取組の一つとして、11月14日（火）に生活向上委員会が中心となって企画した「第2回いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。いじめを無くす学年一取組について、実際に活動してきた内容や学級の様子、

現在も継続して取り組んでいることなどを紹介し合いました。他学年で取り組んでいる活動を聞いて、「自分たちの学級でもぜひやってみよう」と新たな取組を行う姿も見られました。

異学年で構成するなかよしあすなろ班では、班のメンバーで相談し「なかよしになる合言葉」を決めました。みんなで制作しているあすなろの木にこの合言葉を貼り、引き続きあすなろの木を育てています。それぞれのよさや温かい気持ちが書いてあるあすなろの実がたくさん実ってきました。

また、今年度のあいさつ運動では、目と目を合わせてあいさつすることを心掛けています。心と心をつなぐハッピースマイルが燕東小学校に広がっていくことを目指しています。

いじめは、どこの社会でも起こりうることだと言われますが、燕東小学校では、仲間との毎日の関わりを大切にしていじめを生まないようにし、いじめが起きたとしてもそれを見逃さず、全職員で即時対応に努めていきます。子どもたちの様子でご心配な点がございましたら、いつでもご連絡ください。